（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達サポートハウスたんぽぽ　（児童発達・放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2026年　8月　18日		～	2026年　9月　1日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30名	（回答者数）	２8名
○従業者評価実施期間	2026年　8月　18日		～	2026年　9月　1日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　9月　12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様の発達状態に応じた個別療育と小集団療育での支援を行っていること	利用時間に応じて職員が一対一で行う個別療育と、5～8名程度で行う小集団療育に分け、ニーズに応じた支援を実施しています。	・さらに充実した支援を行うため、利用者様一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していきます。 ・利用者様が意欲的に取り組める活動を検討し提供していきます。
2	必要に応じて定期的な面談以外にも適時面談を受け付け、ご家族様の不安や心配に寄り添っていること	６か月に１度の定期的な面談に加え、必要に応じて個別面談を行い保護者様が独りで悩まれないようサポート体制を整えています。また、来所時・帰所時には担当職員からお子様の様子をお伝えし保護者様のお話をお伺いしやすい環境を設定しています。	・引き続きサポート体制を整備し、迅速に対応できるようサポートしていきます。 ・保護者様からは声がかけにくい方もいらっしゃいますので、スタッフからも積極的にお声がけしていきます。

3	保育所や幼稚園、相談事業所との連携を積極的に行っていること	保護者様からの要望があった際には、速やかに対応し保育所訪問や施設見学、担当者会議を行い、情報共有や支援方法の共有、目標設定を連携して行っています。	・引き続き積極的に連携を行い、利用者様またご家族様により良い支援やサポートを行っていけるよう取り組んでいきます。 ・多職種のスタッフが連携し、様々なアプローチから問題解決へと繋げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等の交流機会が不足していること	保育所や幼稚園等との交流機会を提供できていません。早期療育のため、療育中の多くの方が保育所や幼稚園に通園されています。並行通園に向けての療育という位置付けとなっています。	保護者様からの要望を伺いながら、必要に応じて交流の方法を検討していきます。 また夏祭りなど、地域の方が参加できるイベントを引き続き開催し交流の場を提供していきます。
2	父母の会の活動支援や、保護者会などの開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	現状で満足というご意見と、保護者様同士の交流についてもっと場を設けてほしいという意見に分かれています。現状父母の会設立の要望は出ていません。	ご家族様参加型のイベント機会を設けると共に、保護者室を開放しお子様の支援中には、保護者様同士の交流を深めていただけるよう場の提供をおこなっていきます。